

単元 資質・能力		実施時期					質的ルーブリック（判断基準）		
		1 学期			2 学期		考え・基礎知識 (Ideas)	つながり (Connections)	応用・ひろがり (Extensions)
		仮設 設定・ 研究計 画	情報 収集・ 分析	実験 ・ 検証	中間 発表	論文 作成			
論理的思考力		○	◎			◎	複数の資料を収集して、仮説の検証に必要な部分を探することができる。	異なる角度から複数の資料を収集して、仮説の検証に必要な部分を探し、根拠に基づいた結論を導き出すことができる。	異なる角度から複数の資料を収集して読解し、仮説を検証し、根拠に基づいた独自性のある結論を導き出すことができる。
表現力	文章表現力	○			○	◎	研究の動機や仮説設定，検証の過程などを，順を追ってわかりやすくまとめることができる。	研究の動機や仮説設定，検証の過程などを，構成・語句・文意等に注意しながら，適切に分析して，自分の論を表現することができる。	研究の動機や仮説設定，検証の過程などを，構成・語句・文意等に注意しながら，社会的背景を含む根拠をもとに分析して，自分の論を明確に表現することができる。
	プレゼンテーション力				◎		論の内容をレジュメやポスター等にまとめ，音声・態度に注意しながら，自分の論を主張することができる。	論の内容をレジュメやポスター等にまとめ，聴衆に主張が伝わりやすいよう，音声・態度・構成等を工夫して，表現することができる。	論の内容をレジュメやポスター等に工夫してまとめ，聴衆を意識して音声・態度・構成等に注意しながら，自分の論をわかりやすく発表するとともに，双方向的なやりとりを聴衆と行うことができる。
協働性		○		◎	○		問題解決に向けて，他者の意見を傾聴して自分の研究に取り入れることができる。	問題解決に向けて，他者の意見を傾聴して，異なる価値観を受け入れて，よりよい研究とすることができる。	問題解決に向けて，社会を構成する一員として自らの役割を意識し，他者の意見を傾聴して，異なる価値観を受け入れ，よりよい研究を作り上げ，実際に行動に移すことができる。
学びに向かう力		◎	○			○	現代社会の問題点を知り，自らの学びとのつながりを考えることができる。	現代社会の問題点を知り，社会と自らの学びとのつながりを認識して，自らが何をなすべきかを考えることができる。	現代社会の問題点を分析し，社会と自らの学びとのつながりを認識して，自らが何をなすべきかを，社会貢献を意識した研究をすることができる。
主な学習活動（協議，討論，発表等）		表現 協議	分析	実験 フィールド ワーク 製作	発表 討論	表現			